

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年1月7日(14:00～15:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	金坂・植田・河村・諏訪・藤田・嶋岡・岩本・能美 古田・沖田・野畑。菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4人	9人	2人		15人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4人	10人	1人		15人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4人	11人			15人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	11人	2人		15人

できている点	<p>事前の情報収集(基本情報等)を行い本人・家族から生活歴や暮らし方・生活環境等の聞き取りを行うことで、必要なサービスの見極めを行っており、情報をアセスメントシートに記入 利用者を担当する職員が、フェースシートに記録を行い、ミーティング時や伝達ノートを利用し共有している。</p> <p>本人・家族と面談を重ねることや、訪問や送迎時、悩みや訴えを傾聴することで、不安な事を理解し 馴染みの関係を築きながら把握に努めている。</p>
--------	--

できていない点	<p>利用開始前に情報が少ないケースや全職員が直接の関わりを持つ機会が少ないことから、本人・家族の不安が分かりづらく関係性を深められない。</p> <p>家族に対してどこまで踏み込んでいいのか判断に迷うことがある。</p> <p>職員一人ひとりの理解度が不十分・格差もあり、思い込みで行動している部分もある。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>新規利用者の情報を共有するために、担当職員を中心に情報の提供の時期・ミーティングを行う時期を見極め 担当者会議へ参加することで、職員間の情報の共有を徹底していく。</p> <p>家族との関係性を深めることができるよう、コミュニケーション能力を向上させ、利用者・家族の視点で関わりが持てるよう支援していく。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年1月7日（14 : 00 ~ 15 : 00）

2. 「～したい」の実現
（自己実現の尊重）

メンバー 金坂・植田・河村・諏訪・藤田・嶋岡・岩本・能美
古田・沖田・野畑。菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	4人	6人	5人		15人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	5人	9人	1人		15人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1人	10人	4人		15人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	5人	7人	3人		15人

できている点	
<p>介護計画に基に目標（長期・短期目標）を立て、月1回のモニタリングに基づきカンファレンスを行い状態や要望の変化に応じ、現状に即した計画をその都度見直しを行い目標に向けて支援している。 担当制にしていることから、日々の関わりが深く目標の把握はしやすく評価やミーティングでの発言・意見交換を行い情報の共用をしている。</p>	

できていない点	
<p>本人の「できる」可能性に着目して、本来の能力を生かし思いや希望を受け止め、それを叶える方法を考える自己実現に向けた取り組みが少ない。 本人の思い「～したい」の記録用紙の検討を行い、背景にある本人からのメッセージやシグナルに気付けるよう全職員にて記入はできたが、状況分析にまでいたらなかった。 目標が本人の希望ではなく、家族の要望となっている事がある。 認知症の理解や知識不足</p>	

次回までの具体的な改善計画	
<p>認知症について理解を深め、どこに重点・焦点・視点を置いてケアをするのか、「思い」を読み取る力を身につけ生活背景や状況分析ができるよう「ひもときシート」の活用を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年1月7日（14 : 00 ~ 15 : 00）

3. 日常生活の支援

メンバー 金坂・植田・河村・諏訪・藤田・嶋岡・岩本・能美
古田・沖田・野畑。菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3人	9人	3人	15人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6人	8人	1人		15人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2人	9人	4人		15人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4人	10人	1人		15人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	5人	8人	2人		15人

できている点	
<p>生活チェック表にて 体調の変化を細かく記録することで 身体状況が把握できており 食事（誤嚥予防や食事状況に応じた食事形態）排泄（オムツの選択、トイレ誘導による失禁防止、自立）入浴（体調に合わせての清拭・シャワー浴足浴）の対応を行い 著変時は看護師に連絡 必要時は病院受診（同行受診）を行っている。 日々の生活の様子や体調の変化をミーティングで伝え、日報・伝達ノートで情報の共有ができています。</p>	

できていない点	
<p>以前の暮らし方が10個以上把握できていない利用者もいる。 生命や安全を重視した支援をしなければならない事で、本人の気持ちに即時的に支援できないこともある。 口答では報告として上がってくるが、記録に残していないことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	
<p>「ひもときシート」も併用していくことで、以前の暮らし方について10個以上の把握ができるようにしていきたい。 新しい情報があれば、伝達ノートの活用以外での記録の検討をしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年1月17日（14 : 00 ~ 15 : 00）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 金坂・植田・河村・諏訪・藤田・嶋岡・岩本・能美
古田・沖田・野畑。菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		8人	5人	2人	15人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか？	1人	12人	2人		15人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1人	8人	5人	1人	15人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4人	8人	3人	15人

できている点	
利用開始時に基本情報を得て、本人・家族から生活歴や暮らし方・生活環境等の聞き取りができています。馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援しており、散歩時や買い物時に地域の方との挨拶をする等、外出支援に家族に参加していただく等、日常的に交流している。日々の生活の様子や体調の変化等訪問や送迎時に家族からの聞き取りにて把握している。	

できていない点	
全ての利用者の地区民生委員を把握できていない・直接会うことは少ない。地域の方の交流が限られた時にしかなく、全職員が地域の社会資源の把握・情報の共有ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	
地域のボランティア・近隣の方への行事の案内を積極的に行い、本人の地域での暮らしについて、情報を引き出すことを意識し、担当職員を中心に家族が話しやすい環境を作る。地域の行事に参加の機会を増やしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年1月7日（14 : 00 ~ 15 : 00）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 金坂・植田・河村・諏訪・藤田・嶋岡・岩本・能美
古田・沖田・野畑。菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	5人	10人			15人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8人	7人			15人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	8人	7人			15人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6人	8人	1人		15人

できている点	
就労支援・訪問歯科・福祉用具貸与・訪問リハビリ・地域包括支援センター等と連携を図り、本人の状況に応じ「通い」利用日の変更、急な「泊まり」送迎時間の拡張等、柔軟なサービスに対応できるよう多様化に取り組み、ニーズに則した支援を意識して調整を行っている。 日常の関わりの中で、気づきや変化・言動をケア記録に記録し毎日のミーティングで話し合い伝達ノート・申し送り記録にて共有している。	

できていない点	
本人のニーズの捉え方が難しい方もあり、家族のニーズが先攻していることもある。 時間・職員・定員等により、すべての支援ができてはいない。 地域資源の把握・認識・理解不足	

次回までの具体的な改善計画	
家族のニーズが先攻することがないように、把握に努め今後も、柔軟なサービスに対応できるよう多様化に取り組みニーズに則した支援を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年1月15日（14 : 00 ~ 15 : 00）

6. 連携・協働

メンバー 金坂・植田・河村・諏訪・藤田・松浦・長富・岩本
能美・古田・沖田・菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4人	5人	2人	4人	15人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人	2人	4人	8人	15人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1人	11人	2人	1人	15人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6人	7人	2人		15人

できている点	医療機関のカンファレンスの参加や病院受診・サービス担当者会議・就労支援通所事業所との連携 町内会の文化祭の参加・消防団の強力を頂き夜間想定防災訓練の実施。 法人の文化祭や事業所夏祭り・スキンケアの研修会に地域の人の参加があり交流している。小学生の金管バンドの来訪やボランティア（フラダンス・大正琴）の来訪も定期的であり、支援学校主催のイベントに参加している。
--------	---

できていない点	身体状況を考慮することで外出の参加ができる利用者が一部となることがある。 会議に参加する職員に限られている・参加する機会が少ない。 事業所での行事の案内が地域に向けてできていないことがある。 困難事例として包括センターのと連携は図っているが、地域ケア会議の参加にはいたっていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	介護職員の運営推進会議・医療機関の会議（部署感染対策委員会・病棟でのムンテラ）担当者会議への参加を行い得た情報を全職員にて共有できるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年1月15日（14 : 00 ~ 15 : 00）

7. 運営

メンバー 金坂・植田・河村・諏訪・藤田・松浦・長富・岩本能美・古田・沖田・菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	3人	8人	3人	1人	15人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5人	8人	1人	1人	15人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	4人	7人	2人	15人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3人	8人	3人	1人	15人

できている点	職員会議やミーティング時に職員の意見や提案を聞く機会を設け、その都度話し合い伝達ノートで共有している。、相談・苦情の受付体制や処理手続きを定め意見箱を設置している。訪問・送迎時や通所ノートへの記録や電話等で、家族からの意見や要望を聞く機会を設けている。施設見学を積極的に行い、認知症の方の環境や支援方法のアドバイスをおこなっており、地域と一体となり徘徊模擬訓練の参加もしている。
--------	---

できていない点	運営推進会議にて情報や意見を頂き協力の依頼や提案等の取組を行っているが、職員の参加が少なく伝達が不十分となっている。事業所が地域において、どういう役割を持ち、どんな事業所像を目指すべきなのかが確立・周知されていない。運営に反映させるまでの意見はでていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	地域包括ケアシステムの構築に向け、事業所が担う役割として、養成講習を受け、認知症サポーターとして地域との関わりを持ち、認知症のかたの環境や支援方法のアドバイスを今後も継続していく。そのためにもキャラバン・メイト養成研修の参加を働きかけて行く。（キャラバン・メイト養成研修終了者 1名）
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年1月15日（14 : 00 ~ 15 : 00）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 金坂・植田・河村・諏訪・藤田・松浦・長富・岩本能美・古田・沖田・菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	8人	5人	2人		15人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6人	2人	5人	2人	15人
③ 地域連絡会に参加していますか	1人	1人	1人	12人	15人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	5人	5人	1人	15人

できている点	外部研修は、職員に情報を伝え段階に応じて 勤務の一貫として参加の機会を提供している。希望の場合は勤務を調整して 参加の機会を提供している。 内外研修に加え 個々の自己研鑽報告を行い 月1回の勉強会を担当を決め行う他 講師を招いての研修も開催している。 インシデント・アクシデント報告の記録やその場での職員での改善策の話し合いや伝達・月1回行う職員会議で再検討会を行い事故防止に取り組んでいる。
--------	--

できていない点	外部研修や資格取得研修が特定の職員に偏っている。 スキルアップに対して、個々の仕事に関する意識レベルの違いがある。 運営推進会議にて地域の連絡会等の情報は得ているが、参加はできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	内外研修には、引き続き積極的に参加し、全職員が資格取得やスキルアップにつなげていけるよう意識を高めていく。 運営推進会議等で地域の連合会についての情報や意見を頂き参加につなげていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年1月15日（14 : 00 ~ 15 : 00）

9. 人権・プライバシー

メンバー 金坂・植田・河村・諏訪・藤田・松浦・長富・岩本
能美・古田・沖田・菅藤・岡本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 身体拘束をしていない	12人	3人			15人
② 虐待は行われていない	13人	2人			15人
③ プライバシーが守られている	8人	5人	2人		15人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	10人	3人		2人	15人
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	11人	4人			15人

できている点	
身体拘束や抑制をしないケアに取り組んでいる。 尊厳を守る必要性をマニュアルを活用し勉強会を行いプライバシーを損なわない言葉がけやスピーチロックをしない様、チェックリストを作成し活用している。 個人情報は取扱いに注意し、守秘義務を遵守している。 高齢者虐待防止研修会へ参加し対応上の留意点や防止関連法に基づき防止に努めており、成年後見制度の研修会へも参加し制度の理解に努めている。	

できていない点	
利用者やご家族からの問いかけや会話の中で、個人情報を話してしまうことがあり、管理がしづらい。 裏紙利用で印刷をしたものの中に、個人情報に関わるものがあつた。 認知症という病気やケアに関する理解や勉強不足によりできていない。 疾病の状況により、安全が第一に優先する為、入浴・排泄時のケアに不十分なこともある。 成年後見人制度の理解ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	
個人情報の管理を徹底していく。 成年後見人の研修を行い理解を深めていくと共に活用ができるように働きかけていく。	